

火 災 損 害 申 告 書

年 月 日

消 防 署 長 様

申告者 住所
職業
氏名
電話 () -

火災の損害を次のとおり申告します。

り 災 日 時		年 月 日 時 分 ごろ						り 災 物 件 と 申 告 者 と の 関 係				
り 災 場 所								所 有 者 管 理 者 占 有 者				
世 帯 員	続 柄	氏 名		生 年 月 日		続 柄	氏 名		生 年 月 日			
	本 人											
り 災 前 建 物 詳 細	建 築 年 月	年 月		修 繕 年 月	年 月							
	購 入 年 月	年 月		増 改 築 年 月	年 月							
	建 築 金 額	円		修 繕 金 額	円							
	購 入 金 額 (土 地 代 除 く)		円		増 改 築 金 額		円					
	用 途	構 造	階 数	屋 根	外 壁	建 築 面 積	延 べ 面 積	居 住 者 内 訳				
								世 帯 数	人 員			
り 災 建 物	り 災 区 分	焼 き ・ 消 火 ・ 爆 発										
	り 災 状 況											
火 災 保 険	契 約 会 社	契 約 の 種 別			契 約 年 月			契 約 保 険 金 額				
		不 動 産 ・ 動 産										
		不 動 産 ・ 動 産										
		不 動 産 ・ 動 産										
摘 要												
※ 受 付 欄		※ 火 災 番 号				※ 備 考 欄						
		年 号 火 災										

注意事項

- 1 この申告書は、火災による被害財産の調査のため消防法第34条第1項に基づいて提出を求めるものです。
- 2 建物が災したときは1棟ごとにこの申告書を作成してください。
- 3 ※欄は記入しないでください。
- 4 この申告書は、災した日から7日以内に提出してください。
- 5 虚偽の申告をされたときは、消防法の規定により罰則を受けることがあります。

記入要領

- 1 消防署長の前に（三原・三原西・世羅）のいずれかを記入してください。
- 2 り災日時
火災が発生したと思われる日時を記入してください。
- 3 申告者の職業は、具体的に記入してください。
例：会社員（〇〇会社）、公務員、自営業（〇〇店）など
- 4 り災物件と申告者との関係：○をしてください。
所有者 その建物や土地を法律上の権利として「持っている人」。
例：建物の名義人、不動産登記上の所有者。
管理者 実際に建物や土地を「管理・維持している人」。
例：管理会社、大家さん、マンションの管理組合。
占有者 → その場所を「実際に使っている人」。
例：お店の店長、借りて住んでいる人、事務所の使用者。
- 5 世帯員は、同居人も含めて記入してください。
- 6 り災前建物詳細欄の建築年月、建築面積及び延べ面積は、登記簿などで確認し、記入をお願いします。金額は概算でも構いません。
- 7 り災前建物詳細欄の言葉の意味は、次のとおりです。
「用途」：住宅、物置、店舗など
「構造」：木造、軽量鉄骨造、鉄骨造、RC造など
「階数」：2階・平屋など
「屋根」：瓦、スレート、トタン、ガルバニウムなど
「外壁」：モルタル、サイディング、ALC、漆喰、スレートなど
- 8 り災区分欄で、焼き・消火・爆発・その他の意味は次のとおりです。
「焼き」 -----燃えたもの、熱で壊れたもの、煙で汚れたもの。
「消火」 -----消火の水で濡れたもの、消火のために壊れたもの。
「爆発」 -----爆発により壊れたもの。
- 9 り災状況には具体的に燃えた場所などを記入してください。
例）住宅1棟全焼・台所一部焼損・和室の畳1枚焼損
- 10 建物以外の物品は、別紙り災物品一覧表に記入してください。
- 11 その他不明な点がありましたら、最寄りの消防署までお問い合わせください。